



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社AMBITION
代表者名 代表取締役社長 清水 剛
(コード：3300、東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 久保田 勝
(TEL. 03-6439-8905)

平成 29 年 6 月期第 2 四半期 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 12 日に公表した平成 29 年 6 月期第 2 四半期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

●業績予想と実績値との差異

平成 29 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績の差異（平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期連結純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,091	△26	△40	△24	△7.94
今回実績値（B）	6,685	△48	△59	△33	△11.23
増減額（B－A）	594	△22	△19	△9	
増減率（％）	9.7	－	－	－	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 28 年 6 月期第 2 四半期）	4,533	75	77	30	10.04

差異の理由

プロパティマネジメント事業においては、繁忙期（新入学・就職時期）に向けて、当初予想よりサブリース物件を多く取得したことにより売上高は増加しました。それに伴い、募集戸数を増加したことによる売上原価の増加及び物件の管理人員を増加したため、利益を圧迫する要因となりました。また、賃貸仲介事業においては、入居促進に係る広告宣伝費を増加したため、利益を圧迫する要因となりました。インベスト事業においては、大型案件の成約により売上高は増加しました。

なお、通期連結業績予想については、現時点において下期以降の市場動向を見極めることは困難であるため修正しておりませんが、今後の業績を注視しつつ精査を進め、修正が必要と判断した場合には速やかにお知らせする予定です。

以 上